

だい
第 17 課

あに まも
兄がくれたお守りです



にほん みやげ も い なに も い
日本にお土産を持って行くとしたら、何を持って行きますか？
일본에 선물을 갖고 간다면 무엇을 가져갈 건가요?



1. ごめんください

Can-do+
61

ひと いえ ほうもん きほんてき
ほかの人の家を訪問したとき、基本的なあいさつをすることができる。
다른 사람의 집을 방문했을 때 기본적인 인사를 할 수 있다.

1 **1** 1 1
かいわ き
会話を聞きましょう。
회화를 들어 봅시다.

▶ トアンさんが福田さんに招待されて、福田さんの家を訪問しました。
토안 씨가 후쿠다 씨에게 초대받아 후쿠다 씨 집을 방문했습니다.



(1) はじめに、スクリプトを見ないで会話を聞きましょう。🔊 17-01
먼저 스크립트를 보지 말고 회화를 들어 봅시다.

1. 福田さんの家族は、だれがいましたか。
후쿠다 씨 가족은 누가 있었나요?

かぞく
家族

2. トアンさんは、お土産に何を渡しましたか。
토안 씨는 선물로 무엇을 줬나요?

みやげ
お土産

3. トアンさんは、お土産を渡したあと、福田さんに何を聞きましたか。
토안 씨는 선물을 건네 준 후, 후쿠다 씨에게 무엇을 물어봤나요?

き
聞いたこと

(2) スクリプトを見ながら聞きましょう。🔊 17-01

스크립트를 보며 들어 봅시다.

かいわ
会話 1げんかん
玄関で 현관에서

トアン： ごめんください。

ふくだ
福田： はい。

トアンさん、いらっしやい。ようこそ。さ、あがって。

トアン： おじやします。

ふくだ つま
福田(妻)： こんにちは。ふくだ おく むすこ
福田： うちの奥さん。こっちは息子のタケル。

タケル： こんにちは。

ふくだ
福田： こちら、トアンさん。

トアン： はじめまして。トアンです。

ふくだ
福田さんには、いつもお世話になっています。ふくだ つま おっと セワ
福田(妻)： こちらこそ、夫がお世話になっています。セワ
お世話になっています
신세가 많습니다じぶん みうち あ
自分や身内と付き合いのある
相手に使う感謝のことば
자신이나 가족과 친분이 있는 상대에게
사용하는 감사의 말

こちらこそ 저야말로

あいて
相手にあいさつや感謝のことば
を言われたときに返すことば
い
상대에게 인사나 감사의 말을 들었을 때
답하는 말かいわ
会話 2いま
居間で 거실에서ふくだ ちゃ
福田： お茶をどうぞ。

トアン： いただきます。

あのう、これ、ベトナムのコーヒーです。どうぞ。

ふくだ
福田： おお、ありがとう。

トアン： すみません。足をくずしてもいいですか？

ふくだ
福田： あー、どうぞ。楽にしてね。

会話3 玄関で 현관에서

トアン：今日はごちそうさまでした。
楽しかったです。

福田：いえいえ、また来てね。

福田（妻）：いつでも遊びに来てください。

トアン：ありがとうございます。
おじゃましました。

ごちそうさまでした
잘 먹었습니다
食べ終わったときのあいさつ。また、
食事をふるまってくれた人に対して、
あとから言うお礼のことば
다 먹었을 때의 인사. 또, 식사를 대접해 준 사
람에게 나중에 하는 감사의 말

あがる 들어오다 | うちの～ 우리~ | 奥さん 아내분 | 息子 아들 | 足をくずす 다리를 풀다, 편히 앉다
らくにする 편히 있다 | 遊びに来る 놀러 오다



かたち ちゅうもく
形に注目

(1) 次の表現は、訪問する人、訪問を受ける人のどちらが言いますか。○をつけましょう。
また、どんなときに使いますか。

다음 표현은 방문하는 사람과 방문을 받은 사람 중 누가 말하나요? ○를 쳐 봅시다. 또 어떤 때에 사용하나요?

	ほうもん ひと 訪問する人	ほうもん う ひと 訪問を受ける人	つか ばめん 使う場面
ごめんください			
いらっしやい			
ようこそ			
おじゃまします			
おじゃましました			

(2) 形に注目して、会話をもういちど聞きましょう。🔊 17-01

형태에 주목해서 회화를 다시 한번 들어 봅시다.

2 ほかの人の家を訪問する場面の会話をしましょう。

다른 사람의 집을 방문하는 상황에 대한 회화를 해 봅시다.

① 玄関で

ごめんください。

いらっしゃい。どうぞ、あがってください。

おじゃまします。

② 居間で

お茶をどうぞ。

いただきます。

これ、ベトナムのコーヒーです。どうぞ。

ありがとうございます。

③ 玄関で

今日はごちそうさまでした。楽しかったです。

また来てくださいね。

ありがとうございます。おじゃましました。

- (1) 会話を聞きましょう。  17-02  17-03  17-04

회화를 들어 봅시다.

- (2) シャドーイングしましょう。  17-02  17-03  17-04

새도잉을 해 봅시다.

- (3) ロールプレイをしましょう。

訪問する人と、訪問を受ける人になって話しましょう。

롤 플레이를 해 봅시다.

방문을 하는 사람과 방문을 받은 사람이 되어 말해 봅시다.



2. これ、お土産です

Can-do
62

お土産を渡すとき、それは何か、どんなものか、簡単に説明することができる。
기념품을 건넬 때 그것이 무엇인지, 어떤 것인지, 간단하게 설명할 수 있다.

1 ことばの準備

단어 준비

【お土産】

a. コーヒー



b. お茶



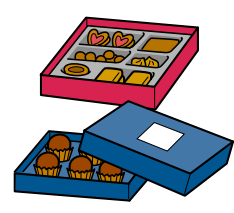
c. お酒



d. 調味料



e. お菓子



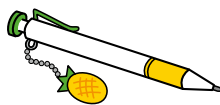
f. カップ



g. キーホルダー



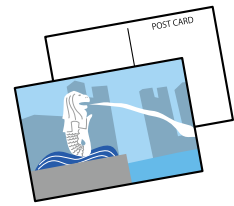
h. ペン



i. お守り



j. 絵葉書



k. 写真集



l. 飾り



m. 人形



n. Tシャツ



o. かばん/バッグ



(1) 絵を見ながら聞きましょう。🔊 17-05

그림을 보며 들어 봅시다.

(2) 聞いて言いましょう。🔊 17-05

듣고 말해 봅시다.

(3) 聞いて、a-o から選びましょう。🔊 17-06

듣고 a-o에서 골라 봅시다.



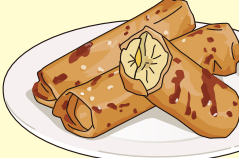

2 2 会話^{かいわ}を聞き^きましょう。

회화를 들어 봅시다.

- ▶ 4人^{よにん}の^{ひと}人^{じん}が、自^じ分^{ぶん}の^{くに}国^{こく}のお^{みやげ}土^ち産^{さん}や^{かし}お^{わた}菓^か子^しを^{わた}渡^{わた}して^{いま}います。
네 사람이 자기 나라의 기념품과 과자를 주고 있네요.

(1) 渡^{わた}した^{もの}の^{なん}何^{なに}ですか。1의 a-o^{えら}から^{えら}選^{えら}び^まし^よう。

건네준 것은 무엇인가요? 1의 a-o에서 골라 봅시다.

	①魔 ^ま よ ^け (^{ネパール} ネパール)	② ^{ナンプラー} ナンプラー (^{タイ} タイ)	③ ^{トゥロン} トゥロン (^{フィリピン} フィリピン)	④ ^{スラーソー} スラーソー (^{カンボジア} カンボジア)
	🔊 17-07	🔊 17-08	🔊 17-09	🔊 17-10
				
なに ^{なに} 何 ^{なに} ?				

(2) もう^いち^ど聞^きき^まし^よう。ど^んな^もの^です^か。() に^こと^ばを^か書^かき^まし^よう。

다시 한번 들어 봅시다. 어떤 것인가요? ()에 단어를 써 봅시다.

	①魔 ^ま よ ^け 🔊 17-07	② ^{ナンプラー} ナンプラー 🔊 17-08	③ ^{トゥロン} トゥロン 🔊 17-09	④ ^{スラーソー} スラーソー 🔊 17-10
ど ^ん な ^も の [?]	か ^べ 壁 ^{かべ} に ^か け ^る る。 () が は ^い い ^こ 入 ^こ っ ^て 来 ^こ ない ^い 。	タイ ^{りょうり} 料理 ^{つか} に ^使 う ^う 。 () から つ ^く 作 ^く る ^る 。	フィリピン ^{では} では ^と と ^も も ()。 () が は ^い い ^こ 入 ^こ っ ^て い ^る る。	() から つ ^く 作 ^く る ^る 。 ち ^よ っ ^と と ()。

(3) こ^とば^を確^{かく}認^{にん}して、もう^いち^ど聞^きき^まし^よう。🔊 17-07 ~ 🔊 17-10

단어를 확인하고 다시 한번 들어 봅시다.

プレゼント 선물 | (お)米^{こめ} 쌀

~と^いい^ます ~라 합니다



かたち ちゅうもく
形に注目

(1) 音声^{おんせい}を聞いて、^き _____ にことば^かを書きましょう。🔊 17-11
 音성을 듣고 _____ 에 단어를 적어 봅시다.

ネパールから _____ ^{かざ}飾りです。

タイ料理^{りょうり}に _____ ^{ちょうみりょう}調味料です。

私^{わたし}が _____ ^{かし}お菓子です。

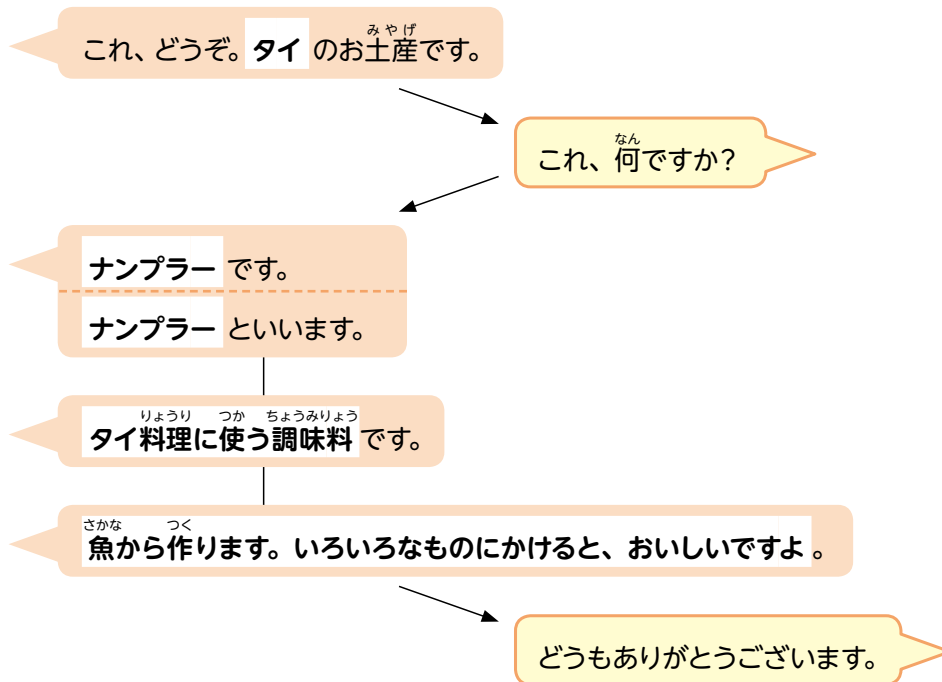
お米^{こめ}から _____ ^{しょうちゅう}焼酎です。

🗨️ ^{みやげ}お土産などを説明^{せつめい}するとき、どんな形^{かたち}を使^{つか}っていましたか。➡️ ^{ぶんぽう}文法ノート ①
 기념품 등을 설명할 때, 어떤 형태를 사용했나요?

(2) 形^{かたち}に注目^{ちゅうもく}して、会話^{かいわ}をもういちど聞き^きましょう。🔊 17-07 ~ 🔊 17-10
 형태에 주목해서 회화를 다시 한번 들어 봅시다.

3 ^{じぶん くに みやげ せつめい}
自分の国のお土産を説明しましょう。

자기 나라의 기념품을 설명해 봅시다.



(1) ^{かいわ き} 会話を聞きましょう。🔊 17-12

회화를 들어 봅시다.

(2) シャドーイングしましょう。🔊 17-12

새도잉을 해 봅시다.

(3) 2의 4つのものについて説明しましょう。

2의 4개 물건에 대해 설명해 봅시다.

(4) ロールプレイをしましょう。

^{ひとり じぶん くに みやげ わた} 1人が自分の国のお土産を渡しましょう。もう1人は、^{ひとり みやげ う と}お土産を受け取りましょう。

^{い にほんご} 言いたいことが日本語でわからないときは、^{しら}調べましょう。

롤 플레이를 해 봅시다.

한 사람이 자기 나라의 기념품을 건네 봅시다. 다른 한 사람은 기념품을 받아 봅시다. 말하고 싶은 단어를 일본어로 모를 때는 찾아봅시다.



3. たんじょうび とも 誕生日に、友だちにもらったんです

Can-do 63

自分の持ち物について、どこで買ったか、だれにもらったかなどを話すことができる。
자신의 소지품에 대해 어디에서 샀는지, 누구에게 받았는지 등을 말할 수 있다.

1 会話を聞きましょう。

회화를 들어 봅시다.

▶ 自分の持ち物について、4人の人が話しています。

자신의 소지품에 대해 네 사람이 이야기하고 있습니다.

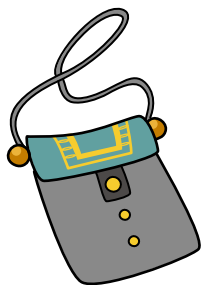
(1) 何について話していますか。a-dから選びましょう。

무엇에 대해 말하고 있나요? a-d에서 골라 봅시다.

a. ピアス



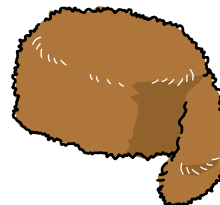
b. かばん



c. マグカップ



d. 帽子



	① 17-13	② 17-14	③ 17-15	④ 17-16
なに 何?				

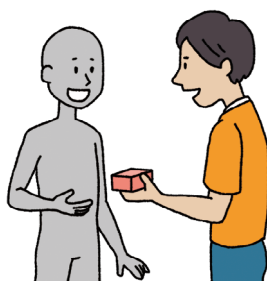
(2) もういちど聞きましょう。だれにもらいましたか。ア-エから選びましょう。

다시 한번 들어 봅시다. 누구에게 받았나요? 아-에에서 골라 봅시다.

ア. お母さん



イ. お兄さん



ウ. 友だち



エ. 自分で買った



	① 17-13	② 17-14	③ 17-15	④ 17-16
だれに?				

(3) ことばを^{かくにん}確認して、もういちど^き聞きましょう。🔊 17-13 ~ 🔊 17-16
 단어를 확인하고 다시 한번 들어 봅시다.

たんじょうび 誕生日 생일 | おしゃれ(な) 세련(된) | すてき(な) 멋진 | 両親^{りょうしん} 양친, 부모
 いいでしょう? 괜찮죠?



(1) 音声^{おんせい}を聞いて、^き_____にことば^かを書きましょう。🔊 17-17
 음성을 듣고 _____에 단어를 적어 봅시다.

たんじょうび 誕生日に、^{とも}友だちに_____んです。
 これは、^{あに}兄が_____^{まも}お守りです。

! 「もらう」と「くれる」は、どう^{ちが}違^{おも}うと思いますか。→ ^{ぶんぽう}文法ノート ② ③
 「もらう」と「くれる」은 어떻게 다르다고 생각하나요?

(2) 「母^{はは}」と「お母さん^{かあ}」、「兄^{あに}」と「お兄さん^{にい}」は、どう^{つか}使^わい分けていますか。
 「母」와 「お母さん」、「兄」와 「お兄さん」은 어떻게 구분해서 쓰나요?

A : これは、ミャンマーの^{はは}母^{つく}が作ったんです。

B : お母さんが作ったの?

A : これは、^{あに}兄^{まも}がくれたお守りです。

B : お兄さんは、^{いま}今、インドネシア?

(3) 形^{かたち}に注目^{ちゅうもく}して、①②④の^{かいわ}会話をもういちど^き聞きましょう。🔊 17-13 🔊 17-14 🔊 17-16
 형태에 주목해서 ①, ②, ④의 회화를 다시 한번 들어 봅시다.

(4) 聞いて言いましょう。

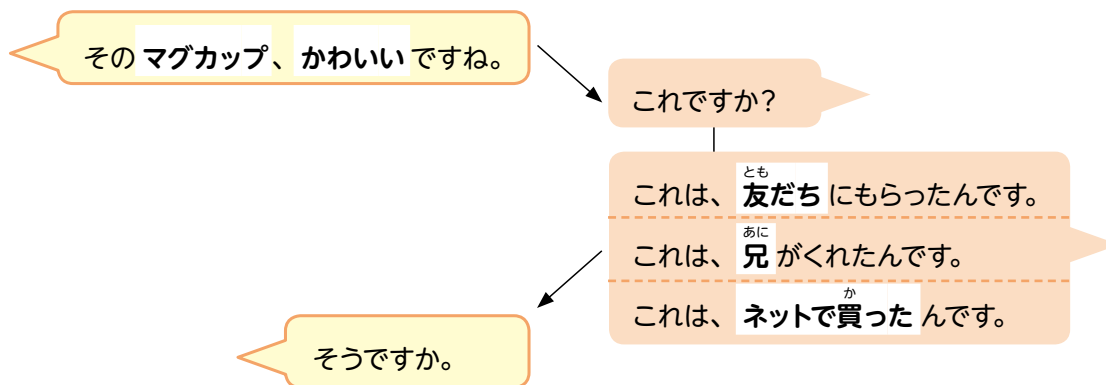
듣고 말해 봅시다.

【家族】

じぶん かぞく 自分の家族 우리 가족 17-18	ほかの人のかぞく 다른 사람의 가족 17-19
ちち 父	とう お父さん
はは 母	かあ お母さん
あに 兄	にい お兄さん
あね 姉	ねえ お姉さん
おとうと 弟	おとうと 弟さん
いもうと 妹	いもうと 妹さん
こども 子ども	こ お子さん
むすこ 息子	むすこ 息子さん
むすめ 娘	むすめ 娘さん

2 お互いの持ち物について話しましょう。

서로의 소지품에 대해 말해 봅시다.



(1) 会話を聞きましょう。17-20 17-21 17-22

회화를 들어 봅시다.

(2) シャドーイングしましょう。17-20 17-21 17-22

새도잉을 해 봅시다.

(3) 1의 会話の内容で、練習しましょう。

1의 회화 내용으로 연습해 봅시다.

(4) お互いの持ち物について、自由に話しましょう。言いたいことが日本語でわからないときは、調べましょう。

서로의 소지품에 대해 자유롭게 말해 봅시다. 말하고 싶은 단어를 일본어로 모를 때는 찾아봅시다.



4. お礼のメール

Can-do 64

家に招待してくれた人など、お世話になった人に、簡単なお礼のメールを書くことができる。
집에 초대해 준 사람 등 신세를 진 사람에게 간단한 감사 메일을 쓸 수 있다.

1 お礼のメールを書きましょう。

감사 메일을 써 봅시다.

▶ ほかの人の家を訪問したあと、お礼のメールを書きます。

다른 사람의 집을 방문한 후, 감사 메일을 씁니다.

(1) 例を読みましょう。

예를 읽어 봅시다.

(例)

The screenshot shows an email composition interface. The 'To' field contains 'fukuda@...com', and the 'Subject' field contains 'ありがとうございました'. The main body of the email is written in Japanese. Three callout boxes on the right point to specific parts of the text:

- The first callout points to the first paragraph: "はじめのお礼" (First thank-you) and "첫 감사 인사" (First thank-you message).
- The second callout points to the second paragraph: "ぐたいてき" (Specific) and "具体的なエピソード" (Specific episode).
- The third callout points to the third paragraph: "むす" (Closing) and "結び" (Closing) and "맺음말" (Closing words).

大切なことば

お宅 たく | おじゃまする おじゃまする 실례하다, 방문하다 | 経験 けいけん 경험

よろしくお伝えください つた | 안부 전해 주세요

(2) だれかの家に招待されて行ったという設定で、例のメールを参考にして、お礼のメールを書きましょう。
누군가의 집에 초대되어 갔다는 설정으로 예의 메일을 참고해서 감사 메일을 써 봅시다.

The image shows a screenshot of an email composition interface. At the top, there is a light blue header bar containing a 'send' button with a paper plane icon and a paperclip icon. Below the header, there are three input fields for email headers: 'To:', 'Cc/Bcc:', and 'Subject:'. The main body of the email is a large, empty text area with a vertical scrollbar on the right side, indicating it is ready for text input.

ちょうかい
聴解スクリプト

2. これ、お土産です

① 17-07

A：これ、お土産みやげです。

B：あ、ありがとうございます。

A：ネパールから持もって来きた飾かざりです。

B：へー。

A：これは、魔まよけです。壁かべにかけると、悪わるいものが入はいって来きません。

B：そうなんですか。

② 17-08

A：あのう、これ、どうぞ。

B：あ、どうも。これ、何なに？A：ナンプラーです。タイ料理りょうりに使う調味料つか ちょうみりょうです。魚さかなから作つくります。

B：へー。

A：いろいろなものにかけて、おいしいですよ。

B：ありがとう。今度こんど、使つかってみるね。

③ 17-09

A：これ、私わたしが作つくったお菓子かしです。みなさん、食たべてください。

B：わー、ありがとう。

A：トゥロンといいます。フィリピンではとても有名ゆうめいです。バナナが入はいっています。

B：へー。いただきます。うん、おいしい！

④ 17-10

A：先生せんせい、お酒さけ、好すきですね？B：うん、大だい好きすだけど……。A：これ、スラーソーです。カンボジアのお酒さけです。先生せんせいにプレゼントです。

B：え、いいの？

A：お米こめから作つくった焼酎しょうちゅうです。B：へー、焼酎しょうちゅう、大だい好きす。ありがとう。A：ちょっと強つよいですから、飲のみすぎないでくださいね。

3. ^{たんじょうび}誕生日に、^{とも}友だちにもらったんです①  17-13

A：そのパンダのマグカップ、かわいいですね。

B：あ、ありがとうございます。

A：中国^{ちゅうごく}から持^もって来^きたんですか？B：はい。誕生日^{たんじょうび}に、友だち^{とも}にもらったんです。

A：そうですか。

②  17-14

A：そのかばん、いいね。

B：そうですか？ ありがとうございます。

A：日本^{にほん}で買^かったの？B：これは、ミャンマー^{はは}の母^{つく}が作ったんです。A：お母^{かあ}さんが作^{つく}ったの？ すごいね。③  17-15A：その帽子^{ぼうし}、あったかそうだね。B：いいでしょう？ これは、モンゴル^{ぼうし}の帽子^{ぼうし}です。A：へー。モンゴル^もから持^もって来^きたの？B：いえ、日本^{にほん}でネット^かで買^かったんです。

A：ふーん、おしゃれだね。

④  17-16

A：そのピアス、すてきですね。

B：あ、これは、兄^{あに}がくれたお守^{まも}りです。A：へー、お守^{まも}りですか。お兄^{にい}さんは、今^{いま}、インドネシア？B：はい。両親^{りょうしん}といっしょに、バリ^すに住^すんでいます。

A：そうなんですか。

かんじのことは

1 読んで、意味を確認しましょう。

읽고 의미를 확인해 봅시다.

とう お父さん	お父さん	お父さん	おとうと 弟	弟	弟
かあ お母さん	お母さん	お母さん	いもうと 妹	妹	妹
あに 兄	兄	兄	おっと 夫	夫	夫
にい お兄さん	お兄さん	お兄さん	つま 妻	妻	妻
あね 姉	姉	姉	りょうしん 両親	両親	両親
ねえ お姉さん	お姉さん	お姉さん			

2 _____の漢字に注意して読みましょう。

_____의 한자에 주의해 읽어 봅시다.

- ① 夫にプレゼントをもらいました。
- ② お兄さんはお元気ですか？
- ③ 国から、弟と妹が遊びに来ました。
- ④ 両親は、兄といっしょに住んでいます。
- ⑤ A：このお菓子、姉が作ったんです。
B：お姉さん、すごいですね。
- ⑥ お父さん、お母さんによろしくお伝えください。
- ⑦ いつも妻がお世話になっています。

3 上の _____のことはを、キーボードやスマートフォンで入力しましょう。

위의 _____의 단어를 키보드나 스마트폰으로 입력해 봅시다.

ぶんぽう
文法ノート

①

V (보통형 普通形) +N ②

ネパールから持って来た飾りです。

네팔에서 가져온 장식품입니다.

- 명사를 수식하며 설명할 때의 표현입니다. 여기에서는 기념품 등을 주거나 자신의 것에 대한 질문을 받았을 때, 그에 대해 설명하는 경우에 사용하고 있습니다.

- 제 15과에서는「せきを抑える薬(기침을 억제하는 약)」처럼 수식받는 명사「薬」가 설명하는 문장의 주어가 되는 경우를 공부했습니다. 이 과에서는 다음과 같이 수식받는 명사「飾り」가 설명하는 문장의 목적어가 되는 경우를 다룹니다.

これは、飾りです。(이것은 장식품입니다。) + 私は、この飾りをネパールから持って来ました。(저는 이 장식품을 네팔에서 가져왔습니다.)

→ これは、ネパールから持って来た飾りです。(이것은 네팔에서 가져온 장식품입니다.)

- 여기에서는 설명하는 문장이「持って来ました」로 동사가 과거 표현입니다. 과거·긍정을 나타내는 동사 보통형은 夕형입니다. 따라서「持って来ました」의 夕形「持って来た」를 사용합니다.

- 기념품을 건넬 때 흔히 사용하는 표현으로는「(私)が作ったN(내가 만든 N)」 「~から持って来たN(~에서 가져온 N)」 「~で買ったN(~에서 산 N)」 등이 있습니다.

• 名詞を修飾して説明するときの言い方です。ここでは、お土産などを人に渡したり、自分のものについて質問されたりしたときに、それについて説明するときに使っています。

• 第 15 課では「せきを抑える薬」のように、修飾される名詞「薬」が、説明する文の主語になっている場合を勉強しました。この課では、次のように、修飾される名詞「飾り」が、説明する文の目的語になっている場合を扱います。

「これは、飾りです。」 + 「私は、この飾りをネパールから持って来ました。」

→ 「これは、ネパールから持って来た飾りです。」

• ここでは、説明する文が「持って来ました」と、動詞が過去の言い方になっています。過去・肯定を表す動詞の普通形は夕形です。そこで、「持って来ました」の夕形「持って来た」を用います。

• お土産を渡すときによく使われる表現として、「(私) が作った N」「~から持って来た N」「~で買った N」などがあります。

【例】 ▶ A: 私が作った料理です。よかったら、どうぞ。

제가 만든 요리예요. 괜찮다면 드세요.

B: いただきます。

잘 먹겠습니다.

▶ これ、北海道で買ったバターです。おいしいですよ。

이거 홋카이도에서 사온 버터예요. 맛있답니다.

◆ 정중형·보통형 (동사: 과거) 丁寧形·普通形 (動詞: 過去)

	정중형 丁寧形 (V-ました)	보통형 普通形 (夕형 夕形)
1 그룹	か 買いました	か 買った
2 그룹	た 食べました	た 食べた
3 그룹	しました きました	した 来た

과거·긍정의 보통형은 夕형과 같습니다.

過去·肯定의 普通形은 夕形과 같습니다.

②

【사람 ^{ひと}人】에 【사물 ^{もの}物】을もらいます

このマグカップ、^{たんじょうび}誕生日に、^{とも}友だちにもらったんです。

이 머그컵, 생일에 친구한테 받았답니다.

- 「もらいます(もらう)」은 누군가로부터 무언가를 받는다는 것을 나타냅니다. 여기에서는 생일 등에 받은 선물에 대해 이야기할 때 사용하고 있습니다.
- 「友だちにもらったんです.(친구에게 받았습니.)」의 조사 「に(~에게)」는 「から(~로부터)」와 같은 의미로 「友だちからもらったんです.(친구로부터 받았습니.)」라고 말할 수도 있습니다.
- 「もらいます(もらう)」は、だれかから何かを受け取ることを表します。ここでは、誕生日などにもらったプレゼントについて話すときに使っています。
- 「友だちにもらったんです。」의 助詞 「に」 は、「から」と同じ意味で、「友だちからもらったんです。」とすることもできます。

【例】 ▶ A: ^{ことし}今年の^{たんじょうび}誕生日に、^{なに}何かもらいましたか?

올해 생일에 뭔가 받았나요?

B: ^{ちち}父に^{とけい}時計をもらいました。

아버지께 시계를 받았습니.

③

【^{ひと}人】が【^{もの} 물건 物】をくれます

これは、^{あに}兄が^{まも}くれたお守りです。

이것은 형(오빠)이 준 부적입니다.

- 「くれます(くれる)」는 다른 사람이 자기에게 무언가를 주는 것을 나타냅니다.
- 아래 예의 「父が誕生日にくれました。」의 조사「が」는 주는 사람을 나타냅니다. 「父がくれました」는 「父が私にくれました」라는 의미지만 「私に」는 말하지 않아도 알 수 있기 때문에 말하지 않습니다.
- 「くれます(くれる)」は、ほかの人が自分に何かをくれる／与えることを表します。
- 下の例の「父が誕生日にくれました。」の助詞「が」は、送り手を示します。「父がくれました」は、「父が私にくれました」の意味ですが、「私に」は言わなくてもわかるので言いません。

^{れい}【例】▶ A: その^{とけい}時計、すてきですね。

그 시계, 멋지네요.

B: 父が^{ちち たんじょうび}誕生日にくれました。

아버지가 생일에 주셨어요.

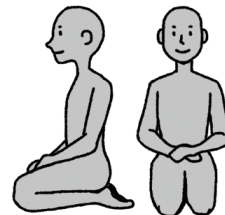
日本の生活
TIPS● わしつ すわ かた
和室での座り方 와시쓰(다다미방)에서 앉는 법

와시쓰 등 다다미가 깔린 방에 앉는 경우, 앉는 방법이 여러 가지 있습니다.

和室など、畳の部屋に座る場合、座り方がいろいろあります。

▶ せいざ
正座 정좌

다다미방에서 앉을 때 가장 보편적인 방법입니다. 다다미방에 앉지 않으면 안 되는 경우, 일단 이 방법으로 앉으면 실례되는 일은 없습니다. 단, 익숙하지 않은 사람이 정좌를 하면 다리 혈류가 막혀 다리가 저리게 됩니다. 그대로 장시간 정좌를 유지하다 보면 다리의 감각이 없어져 일어설 수 없게 됩니다. 힘들다고 느끼면 「다리를 풀어도 될까요?」라고 물어보는 등, 다른 편한 자세로 바꿔봅시다.



畳の部屋に座る場合のフォーマルな座り方です。畳の部屋に座らなければならない場合、まずはこの座り方をすれば、失礼になることはありません。ただし、慣れていない人が正座をすると、足の血流が止まり、足がしびれてきます。そのまま長時間正座を続けると、足の感覚がなくなって、立てなくなってしまいます。つらいと感じたら、「足をくずしてもいいですか」と聞くなどして、ほかの楽な座り方に変えましょう。

▶ あぐら 양반다리

동사로는 「あぐらをかく(양반다리를 하다)」라고 합니다. 남성이 자주 하는 방법입니다. 최근에는 젊은 이들을 중심으로 여성들 사이에도 이 방법으로 앉는 사람이 늘고 있지만, 사람에 따라서는 「여성엔 양반다리를 해서는 안 된다」라고 생각하는 사람도 아직 많이 있는 것도 사실입니다.

動詞では「あぐらをかく」といいます。男性がよくする座り方です。最近では若い人を中心に、女性でもこの座り方をする人が増えていますが、人によっては「女性はあぐらをかくべきではない」と考える人もまだ多くいるのも事実です。

▶ よこすわ
横座り 다리를 옆으로 모아 앉기

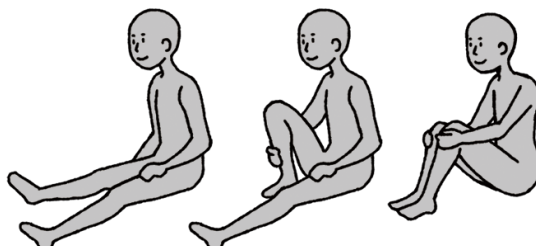
여성들이 다리를 풀어 편히 앉는 경우, 이 방법을 사용하는 사람이 많은 듯합니다.

女性が足をくずして座る場合、この方法を使う人が多いようです。

▶ そのほかのすわ かた
座り方 그 외 앉는 법

다리를 앞으로 뻗기, 한쪽 무릎 세우기, 무릎을 감싸고 앉기 등은 전부 와시쓰에서는 그다지 일반적인 방법은 아닙니다.

足を前に投げ出す、片膝を立てる、体育座りなどは、いずれも和室ではあまり一般的な座り方ではありません。



● まも お守り 부적

일본의 부적은 신사나 절에서 살 수 있습니다. 소원 종류에 따라 「가내 안전(가족이 무사히 살아갈 수 있게)」 「학업성취(시험이나 수험에 합격할 수 있게)」 「장사 번창(장사가 잘 되게)」 「연애 성취(연애가 잘 풀리게)」 등 다양한 종류가 있습니다. 최근에는 색과 디자인이 예쁜 부적을 기념품으로 사는 사람도 있지만 부적을 오랫동안 꼭 갖고 있는 것은 좋지 않다고 여겨집니다. 소원이 이루어졌을 때는 그 신사나 절에 부적을 되돌려주고 「감사 참배(お礼参り)」를 합니다.



日本のお守りは、神社やお寺で買うことができます。願いの種類によって、「家内安全（家族が無事に暮らせますように!）」 「学業成就（試験や受験に合格しますように!）」 「商売繁盛（商売がうまくいきますように!）」 「恋愛成就（恋愛がうまくいきますように!）」 など、さまざまな種類があります。最近、色やデザインのカワイイお守りをお土産として買う人もいますが、お守りを長い間ずっと持っているのはよくないことと考えられています。願いが叶ったときは、その神社やお寺にお守りを返して「お礼参り」をしましょう。

● かぞく よ かた 家族の呼び方 가족 호칭

일본어로는 부친·모친을 나타내는 말로 「치치(父)·하하(母)」와 「오토상(お父さん)·오카상(お母さん)」이라는, 다른 말하기 방식이 있습니다. 구분법은 「자신의 가족」인 경우에는 「치치(父)·하하(母)」, 「다른 사람의 가족」인 경우에는 「오토상(お父さん)·오카상(お母さん)」이라고 일반적으로 설명되고 있지만, 실제로는 어떤 자리인지, 말하는 이의 연령 등에 따라 구분법이 달라집니다. 일 등의 공식적인 장면이나 뒷사람과 이야기하는 경우는 앞서 말한 바와 같이 구분하여 사용되지만, 친구 사이 등 비공식적인 경우나, 특히 말하는 이가 학생 등의 젊은 세대인 경우는 자신의 부모에 관해 이야기할 때에도 「오토상·오카상·오니상·오네상(お父さん·お母さん·お兄さん·お姉さん)」을 사용하는 경우가 늘고 있습니다. 예로 젊은 올림픽 선수가 시합 후 인터뷰에서 자신의 아버지를 「오토상」이라고 부르는 장면도 종종 볼 수 있습니다. 젊은 일본인이 「오토상·오카상·오니상·오네상」 등의 단어를 사용하는 것을 들으면 그것이 누구의 가족을 말하는지 좀 생각해 봅시다.

단, 자신보다도 어린 사람을 나타내는 말(남동생·여동생·아들·딸 등)에는 「상(さん)」을 붙인 형태를 자신의 가족에 대해 사용하는 일은 없습니다.

日本語では、父親・母親を表すことばに、「父・母」と「お父さん・お母さん」と、異なる言い方があります。使い分けは、「自分の家族」の場合は「父・母」、「ほかの人の家族」の場合は「お父さん・お母さん」と一般的に説明されますが、実際には、場面のフォーマリティーや、話者の年齢などによって、使い分け方が異なります。仕事などのフォーマルな場合や、目上の人と話す場合は、前述のような使い分けがされますが、友だち同士などインフォーマルな場合や、特に話者が学生などの若い世代の場合は、自分の親について話すときも「お父さん・お母さん・お兄さん・お姉さん」が使われることも多くなっています。例えば、若いオリンピック選手が、試合後のインタビューで、自分の親のことを「お父さん」のように呼んでいる場面もしばしば見られます。若い日本人が「お父さん・お母さん・お兄さん・お姉さん」などのことばを使っているのを聞いたら、それはだれの家族のことを言っているのか、ちょっと考えてみましょう。

ただし、自分よりも下の人を表すことば(弟・妹・息子・娘など)には、「さん」を付けた形を自分の家族に対して使うことはありません。